

元城キッズチャレンジビジネス

1 本校のキャリア教育（総合的な学習の時間を中心として）

本校の教育目標

自らの可能性をひらき、共によりよく生きる子

- 自ら学び続ける子
- 他を思いやる子
- 責任をもってやりぬく子
- 進んできたえる子

めざす子どもの姿

ふるさとを学習の基盤として自ら創り上げた課題を、これまでの学習経験を生かし、仲間とともに主体的・創造的・協同的に解決していく過程を通して、自己の生き方を考えることができる子

ふるさと愛をはぐくむために

- （3年，4年） ふるさとのよさにふれる・ひたる
- （5年，6年） ふるさとに誇りをもつ

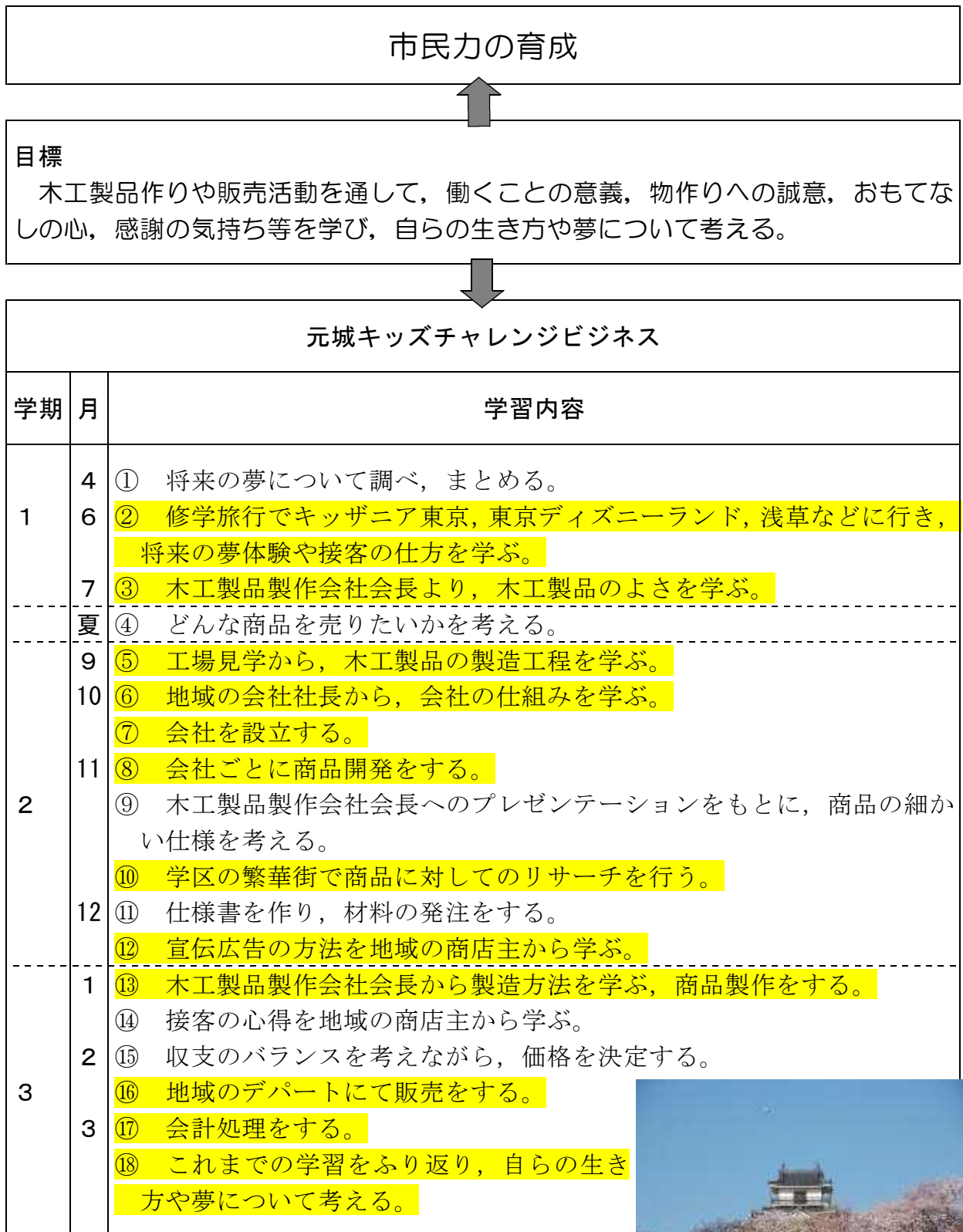
各学年の総合的な学習の時間について

- （3年） 地域の人々の様々な生活の様子や歴史・文化，産業等の理解を深め，地域の一員としての自覚をもつ。 **地域**
- （4年） ユニバーサルデザインについて調べ，福祉の意識の基礎となる自主性，協調性，思いやり等の心情を高める。 **福祉**
- （5年） 都市環境の整備の様子や身の回りの自然などの環境問題に目を向け，自分でできることに取り組もうとする心情を高める。 **環境**
- （6年） 木工製品作りや販売活動を通して，働くことの意義，物作りへの誠意，おもてなしの心，感謝の気持ち等を学び，自らの生き方や夢について考える。 **生き方**

市民力の育成



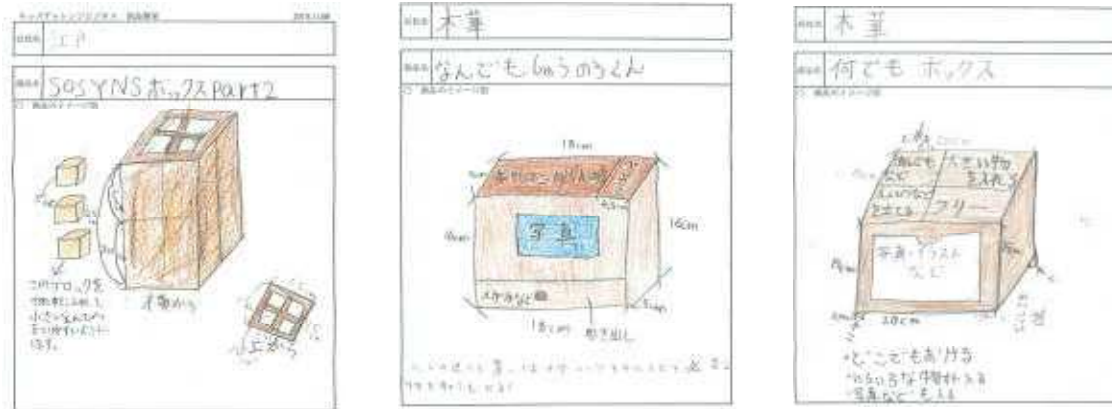
2 元城キッズチャレンジビジネス全体図



3 元城キッズチャレンジビジネス 取組の様子

⑧ 会社ごとに商品開発をする。(11月)

〈平成22年度 会社ごとに考えた商品〉



⑨ 宣伝広告の方法を地域の商店主から学ぶ。(12月)

〈平成22年度 作成したちらし〉 〈平成22年度 作成したポスター〉



⑩ 木工製品製作会社会長（有限会社 豊岡クラフト 山崎 肇 様）から製造方法を学ぶ，商品製作をする。(1月)

(販売後のふり返り)

思っていたより，販売は大変でした。買いに来てくれる人も少ないし，来てくれても買ってはくれませんでした。「世の中は，甘くないな。」と思いました。でも，商品が1つ売れたときは，
「やっと，1つ売れた。」という気持ちでうれしくなりました。

最後の商品が売れたときは，達成感でいっぱいでした。そして，人の温かさが身にしみました。完売できたのは，豊岡クラフトの皆さん，杉浦社長さん，三浦さん，そして地域の皆さんのおかげだと思っています。とても感謝しています。本当にありがとうございました。
〈平成22年度〉

⑱ これまでの学習をふり返り，自らの生き方や夢について考える。（3月）

（元城キッズチャレンジビジネスを終えてのふり返り）

〈平成22年度〉

キッズチャレンジビジネスの学習を通して，私はいろいろな人に支えられていることを改めて感じました。これからの生活，将来に向けて，私は，たくさんの人に支えられていることを忘れずに生活したいです。そして，将来はたくさんの人を支えられる人間になりたいです。

もしも，私が将来，商売をすることになったら，きっと今まで学んできたことを思い出すでしょう。活動の中で，悩んだこともありましたが，関わってくれた皆さんのおかげで，大成功で終わることができました。6年間は早いものです。今回のキッズチャレンジビジネスはより一層，6年間の友達とのことを思い出させてくれました。これからも，小学校生活で学んだことを忘れずに，どんなことにでも一生懸命取り組んでいきたいと思います。

私がかねえたい夢はツアープランナーです。ツアープランナーは，お客様に分かりやすく説明しなければなりません。今回の販売では，説明のときにとぎれてしまったことがあったので，これから自信をもって話ができるようになるために発表を頑張りたいと思います。

今回の学習で，あいさつや笑顔の大切さを学びました。私の夢は，保育士です。夢がかなってから，今回学んだことを生かすのではなく，これからの生活の中で生かせたらいいなと思っています。

※ 先日は、サザン西館にて、子供さん達から

※ 木工製品を企画・製造・販売された製品を

※ 購入させて頂き、有難うございました。

※ 自分の机に置き大切に使用していただいて

※ おります。これから小学校を卒業され、中学校へと

※ 進まれることと思いますが、育てて下さった全ての

※ 人に感謝し、素晴らしい人生でありますように

※ 祈念してお祈り。お体大切にお過ごし下さい。

〈平成22年度購入された方からの手紙〉

元城キッズチャレンジビジネス



静岡県浜松市立元城小学校

本校の概要



(C) Mapion

本校のキャリア教育

～総合的な学習の時間を中心として～

市民力の育成

- ・勤労する意欲
- ・ものづくりや
新しいことに
挑戦する精神



©浜松市

元城キッズチャレンジビジネス



元城キッズチャレンジビジネス		
学期	月	学習内容
1	4	① 得意の事について調べ、まとめる。
	6	② 協定校内でキッズフェア開催。得意ジャンルでコーナー作り。商展などに行き、得意な事や職種の得意な方法を学ぶ。
	7	③ 木工製品製作会社を訪問し、木工製品の工場を学ぶ。
2	8	④ どんな商品を見たいかを考える。
	9	⑤ 工場見学から、木工製品の製造工程を学ぶ。
	10	⑥ 地域の会社社長から、会社の仕組みを学ぶ。 ⑦ 会社を設立する。
	11	⑧ 会社ごとに商品開発をする。
3	12	⑨ 木工製品製作会社社長へのプレゼンテーションをもとに、商品の細かい仕様を考える。 ⑩ 学校の前庭前で商品に対してのセミナーを行う。
	1	⑪ 在庫を取り、材料の確保をする。 ⑫ 互換性のある方法を地域の協賛店から学ぶ。
	2	⑬ 木工製品製作会社社長から製造方法を学ぶ、商品製作をする。 ⑭ 顧客の心持を地域の協賛店から学ぶ。 ⑮ 製品のプランを考えるが、価格を決定する。 ⑯ 地域のイベントにて販売をする。
3	3	⑰ 会場設営をする。 ⑱ これまでの学習を振り返り、自分の得意な事や強みについて考える。



② 修学旅行に行き，将来の夢体験や接客の仕方を学ぶ。



③ 木工製品製作会社会長より，木工製品のよさを学ぶ。



⑤ 工場見学から、木工製品の製造工程を学ぶ。



⑥ 地域の会社社長から、会社の仕組みを学ぶ。



⑦ 会社を設立する。



⑧ 会社ごとに商品開発をする。



⑩ 学区の繁華街で、商品に対しての
リサーチを行う。



⑫ 宣伝広告の方法を地域の商店主から学ぶ。



⑬ 木工製品製作会社会長から製造方法を学ぶ，商品製作をする。



①⑥ 地域のデパートにて販売をする。



①⑦ 会計処理をする。



⑱ これまでの学習をふり返り、自らの
生き方や夢について考える。

MOMOKO SAKURA

先日は、サザン西館にて、子供さん達から
木工製品を企画・製造・販売された製品を
購入させて頂き、有難うございました。

自分の机に置き大切に使用していただき
おります。これから小学校を卒業され中学校へと
進まれることと思いますが、育てて下さった全ての
人に感謝し、素晴らしい人生でありますように
祈念しております。お休みなさい。

元城キッズチャレンジビジネス



静岡県浜松市立元城小学校